

港の風

vol. 48  
2022.4.15

# 神戸港からのたより

PORT OF KOBE



## CONTENTS

港まちにある風景 01	01
汽笛の聞こえる港(昔)の風景	
特集 01	02
令和4年の神戸港 国際競争力の強化と、にぎわい都市としての発展へ	
特集 02	08
宮崎カーフェリー 神戸～宮崎間に新船「フェリーたかちほ」就航	
SNS フォトコンテスト受賞作品発表	12
神戸海洋博物館・カワサキワールドだより	14
神戸港ピックアップ	16
神戸空港NEWS	20
神戸港トピックス／編集後記	21



宮崎の景色とフェリーたかちほ  
イラストレーター・グラフィックデザイナーの永井博氏による新船イラスト

「港の風～神戸港からのたより」  
編集・発行 一般財団法人 神戸観光局 港湾振興部  
〒650-0042 神戸市中央区波止場町2番2号  
電話 078 (327) 8981 FAX 078 (332) 4739  
<http://kobe-meriken.or.jp>  
発行日 令和4年4月15日

表紙絵:夜の神戸港とフェリーたかちほのイメージイラスト



## 汽笛の聞こえる港(音)の風景

港まち神戸には、港ならではの風景があります。港を行き交う船、停泊しているクルーズ客船、船に荷物を積み降ろしする様子、岸壁で羽を休めるカモメ、ウォーターフロント公園のモニュメントや草花など、港で目にするものすべてが港まちな風景です。

その風景に五感で感じるエッセンスが加わると、港まちな風景は単なる風景から港情緒のある風景へと変わっていくことでしょう。

これから、港湾振興部目線の「港まちなある風景」をご紹介します。皆さまが、港に足を運んでくださるきっかけのひとつになればと願っています。

今回は、港の情緒(風景)を感じるもののひとつに「汽笛」があると思います。「汽笛の聞こえる(音)の風景」を、港で聞こえる「音響信号」の意味を交えてご紹介します。



### 汽笛の音

本来「汽笛」とは船が備える音響装置のひとつで、全世界の船舶が遵守する「海上衝突予防法」では、この法律で規定する「短音」及び「長音」を発することができる装置とされています。

「音響信号」はこの短音及び長音を、法律で定められた組み合わせによって汽笛を鳴らすことで、自船の動作や存在を他船に知らせるために発する音の信号です。

法律で「短音」及び「長音」は、つぎのような音と規定されています。(海上衝突予防法第32条)

【短音】 約1秒間継続する吹鳴(汽笛の音)をいう。

【長音】 4秒以上6秒以下の時間継続する吹鳴をいう。

これが汽笛です



### 港で耳にする汽笛

私たちが港を散策していると、よく耳にする汽笛の音に「ポー」や「ポー・ポー」、「ポー・ポー・ポー」があります。これらの汽笛の音は短音を1回、2回、3回と繰り返して鳴らす音響信号です。その音の数によって船が伝えようとする意味が異なります。

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 【ポー:短音1回】       | 右に針路を転じています。(右に曲がっていきます) |
| 【ポー・ポー:短音2回】    | 左に針路を転じています。(左に曲がっていきます) |
| 【ポー・ポー・ポー:短音3回】 | 機関を後進にかけています。(バックします)    |

これらの汽笛の音は、遊覧船の離着岸や練習船、クルーズ客船、貨物船などが入出港する際に聞くことができる汽笛の音です。

極々稀ですが、港で聞こえる音響信号のなかに「ポー・ポー・ポー・ポー・ポー……」と短音を5回もしくはそれ以上繰り返す汽笛の音を聞くことがあります。この信号は、衝突の危険がある場面で衝突を回避するための他船の動作に疑問がある場合に発せられます。この信号が耳に飛び込んできたときは、その緊迫した場面を想像してしまいます。

そのほか、クルーズ客船や練習船の見送りに行かれた際に耳にする「ポ~~~~ポ~~~~ポ~~~~」といった長音3回があります。この汽笛の音は、港に見送りに来てくれた人々に対して「お見送りありがとうございます。さようなら~」といった挨拶を船の慣習で行われているものです。この汽笛の音は、とくに港の情緒を強く感じる一場面です。



ポー・ポー・ポー  
機関を後進(バック)  
します



ポ~~~~ポ~~~~ポ~~~~  
お見送りありがとうございます  
さようなら~

※これらの音響信号以外にも、船が発する音響信号には適用される法律や船の種類、状況(場面)などによって様々なものがあります。これらの音響信号については、また別の機会にご紹介することになります。

## 令和4年の神戸港

# 国際競争力の強化と、 にぎわい都市としての発展へ

～本年度神戸市港湾局主要施策より～

### 1

## 神戸港における 最近の取り組み

### 神戸港の港勢

令和元年末より世界的に感染拡大した新型コロナウイルスにより、社会経済活動やサプライチェーンに深刻な影響を与え、神戸港においても、令和2年のコンテナ取扱個数が265万TEU（前年比92.3%）と大きく落ち込みました。

令和3年のコンテナ取扱個数は、前年の大幅減の反動により、282万TEUとなり、新型コロナ発生前の令和元年の水準には届かないものの、回復傾向にある状況です。

一方で、新型コロナ感染の再拡大への懸念や海外港湾の混雑など、港湾物流を取り巻く環境は、依然として先行き不透明で、まだまだ楽観できない状況が続いています。

### カーボンニュートラルポート

平成30年のIMO（国際海事機関）のGHG削減戦略（2050年までに国際海運から温室効果ガス総排出量を50%削減）や、令和元年のIEA（国際エネルギー機関）による港湾における水素利活用の提言など、近年、港湾における脱炭素化の動きが世界の潮流になっています。

国内においても、令和2年10月に当時の菅首相が「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、同年に策定された「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」では、我が国の輸出入の99.6%を取り扱う物流拠点であり、かつCO2排出量の約6割を占める産業の多くが立地する産業拠点である港湾においても脱炭素化を進める「カーボンニュートラルポート（CNP）の形成」が明記されました。

神戸港では、神戸空港島における海外から液化した水素を船で運ぶ「水素サプライチェーン構築実証事業」と、ポートアイランドにおける水素から作った電気と熱を、街中に供給する「水素エネルギー利活用開発実証事業」の2つの世界初の実証事業を行っていることもあり、令和2年度に国土交通省よりCNP検討対象港に選定されました。

近畿地方整備局と神戸市が事務局となり、学識経験者や民間事業者で構成する「神戸港CNP検討会」を立ち上げ、令和3年4月には、CO2排出量、水素ポテンシャル等の推計、具体的な取り組み事例等を明示した「神戸港におけるCNP形成に向けた方向性」を取りまとめたところです。



# 2

## 令和4年度 港湾局予算概要

### ウォーターフロント

ウォーターフロントでは、平成23年にハーバーランドからHAT神戸に至る都心・ウォーターフロントエリアの将来像として「港都 神戸」グランドデザインを策定し、その土地利用方針に基づき、現在、新港突堤西地区と中突堤周辺地区を中心に再開発を進めています。

新港突堤西地区では、第1突堤基部において、令和3年1月の「Stage Felissimo (ステージフェリシモ)」や「駐車場棟」のオープンを皮切りに、4月には「GLION Awa-s Building (ジーライオンアワズビル)」が、10月にはステージフェリシモのチョコレートミュージアムや「神戸ポートミュージアム」がオープンしました。中でも「神戸ポートミュージアム」は、アートと水族館を融合した劇場型アクアリウム「átoa (アトア)」や1階にフードホールを兼ね備えた集客施設として話題を集め、ウォーターフロントの新たな賑わい空間を形成しています。

また、第2突堤では、令和3年3月に、プロバスケットボールをはじめとするスポーツや、音楽興行、MICEなど多様な興業や演出に対応できる、関西圏でも数少ない1万人規模の「多目的アリーナ」の進出が決定し、令和6年の開業を目指しているところです。

中突堤周辺地区では、みなと神戸のシンボル施設の1つである神戸ポートタワーのリニューアルに着手しました。開業から57年が経過し、これまで延べ約2,530万人が訪れ、港町神戸のランドマークとして佇む一方で、経年による施設の老朽化対策や現行の耐震基準に対応した構造補強とともに、新たな集客力向上に向けた取り組みが課題となっていました。そこでさらなる魅力向上のため、開業60周年を迎える令和5年の完成に向け令和3年10月からリニューアル工事に着手しています。

### 令和4年度の主な取り組み

神戸市の令和4年度当初予算では、「海と山が育むグローバル貢献都市の実現」を掲げ、新型コロナ対策を進めつつ、コロナ後を見据えた神戸経済の維持・回復と持続的発展を目指すこととしています。

港湾局では、港湾物流分野において、日本の港湾物流を支える西日本のゲートポートとして、引き続き、国際コンテナ戦略港湾施策を推進するとともに、港湾における脱炭素化に向け、新たにカーボンニュートラルポート(CNP)の形成に取り組みます。

賑わい創出分野では、新港突堤西地区及び中突堤周辺地区を中心にウォーターフロント再開発を進めるほか、回遊性向上に向けた検討や賑わいづくりに向けた様々なイベントを開催します。また、須磨海岸エリアでは、須磨ヨットハーバー再整備に向けた検討や回遊性向上に向けた実証事業など、四季を通じた賑わいづくりに取り組みます。

安全・安心なみなとづくりでは、南海トラフ巨大地震に伴う津波対策や平成30年の大型台風による高潮被害に対する再度災害防止に向け、引き続きハード対策を進めるほか、陸開等の遠隔操作化などを進めていきます。

次に、令和4年度における港湾局の各主要施策について、詳しくご紹介します。



## 国際コンテナ戦略港湾

国際コンテナ戦略港湾施策では、「集荷」施策として、内航フィーダー航路網を活かした日本海側を含む西日本諸港からの集荷や東南アジア・北米間をはじめとする神戸港でのトランシップ貨物を取り込むことで、基幹航路誘致に必要な貨物量を集荷し、基幹航路の多方面・多頻度化を図ります。また、コンテナ貨物に加え、在来貨物や航路誘致を積極的に進め、あらゆる貨物に対応した総合型港湾の機能拡充を図るとともに、環境負荷の少ない輸送形態への転換トライアル事業といった脱炭素化に配慮した集荷の取り組みも進めていきます。

また、「競争力強化」では、高規格コンテナターミナルの整備促進に加え、大阪湾岸道路西伸部や

ハーバーハイウェイのETC整備、阪神港COMPAS導入など港湾物流の円滑化を図ることで、神戸港の生産性向上を図り、国際競争力を強化します。



大型コンテナ船着岸の様子

## カーボンニュートラルポート (CNP) の形成

水素等の次世代エネルギーの利活用を図り、脱炭素化に配慮した高度な港湾機能・施設の導入等により、神戸港のCNPの形成を進めます。

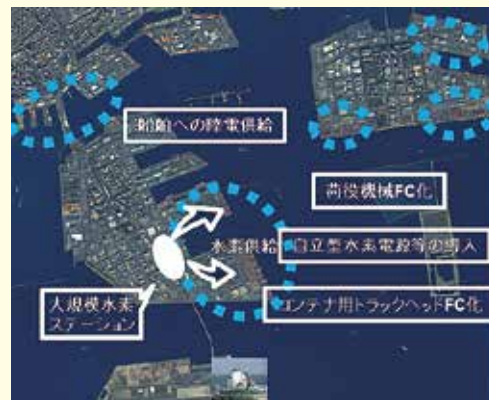
昨年12月に国土交通省より「カーボンニュートラルポート (CNP) 形成に向けた施策の方向性」と「CNP形成計画策定マニュアル」が示されたことから、神戸港においても、温室効果ガスの削減目標や実現するための取り組み、ロードマップなどを取りまとめたCNP形成計画を策定します。

CNP形成に向けた具体的な施策としては、停泊中船舶のアイドリングによるCO2削減のため、停泊時間や係留実績が多い、新港第1突堤や新港東ふ頭の岸壁を対象に、停泊時に船内発電機を停止し、陸上からの電力供給に切り替える陸上電力供給施設の整備に着手します。

また使用電力の脱炭素化を図るとともに、ピークカットによる電力コスト削減、災害時の非常用電源としての活用も見据え、自立型水素電源の導入を検討します。

ポートアイランド (第2期) の神戸インキュベーションオフィス (KIO) の跡地では、コンテナターミナルに近接した立地環境を活かし、荷役機械やトラクターヘッド等の輸送車両などへの水素供給を見据え、CNP形成に資する大規模水素ステーション等の誘致を進めます。

神戸空港島などの緩傾斜石積護岸に広く分布する藻場を、CO2の吸収源である「ブルーカーボン」として評価・活用を進め、CO2削減を図る企業・団体等とクレジット取引を行うブルーカーボン・オフセット制度の導入検討を進めます。



神戸港CNP形成イメージ



提供：HySTRA

空港島における液化水素荷役の実証実験の様子

## ウォーターフロントの魅力向上

新港突堤西地区では、第2突堤の多目的アリーナの建設に合わせ、周辺緑地の基本設計を進めるほか、第1・2突堤間では、水域活用に向けた防波堤の整備や事業化の検討を進めます。

中突堤周辺地区では、観光・エントランスエリアとしての磨きを掛けるため、引き続き神戸ポートタワーのリニューアル工事を進めるとともに、工事期間中の賑わいづくりとして、プロジェクションマッピングなど、街とアートを掛けあわせた「神戸ウォーターフロントアートプロジェクト」も引き続き実施します。また、隣接する中突堤中央ビルでは、南館の解体などの再整備を進めます。

このような面的な再開発とともに、ハーバーランド～中突堤～新港突堤西地区に至るウォーターフロントエリア内の回遊を促す取り組みとして、次世代モビリティの実証事業や高浜岸壁と中突堤西緑地を結ぶ橋梁の設計を進めます。



新港第1・第2突堤間の水域活用イメージ



ポートタワー  
プロジェクション  
マッピング

## 市民に親しまれるみなとづくり

withコロナ時代における分散型花火・冬のイルミネーションなど新たな賑わいづくりを周辺の事業者と連携して取り組み、ウォーターフロントエリアの活性化を図ります。

海事分野の人材育成については、神戸海洋博物館における企画展などの取り組みに加え、青少年が海・船・港に親しみ港湾産業の重要性を学ぶ機会づくりとして、神戸・みなと体験、みなとの学習会の開催を通じて、学校教育・海技教育機構・遊覧船など港湾関係事業者と連携した取り組みを進めていきます。

また、六甲アイランドでは、背後地の利活用に併せて、マリナーパークの利便性や魅力向上のための再整備検討を進めるほか、ポートアイランド南公園のリノベーションを進めます。

水上オートバイの危険性が顕著となったことを踏まえ、須磨海岸と兵庫運河においては、条例改正により航行禁止区域を指定しました。同条例は5月1日より施行されます。

港湾局では引き続き周知・監視を行い、市民の安心安全を守るための施策を実施します。



冬のイルミネーション「メヤメヤ」

## クルーズ・フェリー受入れによる地域活性化

感染症対策や外航クルーズ再開後の客船の寄港に対応すべく、ターミナルでの受入れ体制の強化を進めるとともに、客船入港時のおもてなしや寄港地観光の充実、フライ&クルーズや瀬戸内クルーズの推進を図ることにより、幅広い層の客船誘致を目指します。

神戸ー小豆島・高松航路では33年ぶり、神戸ー宮崎航路では25年ぶりとなる新造船の就航を契機に、さらなる内航フェリーの活性化を図るため、with コロナに対応したフェリーによる船旅の魅力のPRや利用促進に取り組みます。



令和4年度就航予定の新造船

## 須磨海岸エリアの魅力向上



須磨海浜水族園・海浜公園再整備イメージ

JR須磨駅から須磨ヨットハーバーに至る約1.8kmの海岸沿い遊歩道において、次世代モビリティによる運行実証を行い、回遊性向上や新たな魅力づくりについて検証を行います。また、四季を通じた賑わいづくりの一環として「スケートエリア」「ドックランエリア」の社会実験を引き続き実施します。

さらに、海路を活かした新たな賑わいづくりに向け、帆船「みらいへ」による都心（中突堤）と須磨エリア間を結ぶ体験航海を引き続き実施するほか、新たな観光スポットの開業やサイクリングのアワイチなどで話題性が高まっている淡路島と須磨エリアを結ぶ海上交通の実証事業を行います。

須磨ヨットハーバーの魅力向上に向けた取り組みでは、施設更新や機能拡充とともに、防波堤敷のプロムナード化等によるマリナーを身近に感じられる空間づくりや、アクセス動線の改善など、周辺整備を含むヨットハーバー再整備に向けた検討を進めるほか、民間の資金やノウハウを活用した運営手法の検討を進めます。



須磨海岸帆船体験



須磨海岸SUP (スタンドアップパドルボード)体験





## 神戸空港の運営

神戸空港は、平成30年4月から関西エアポート神戸(株)が運営しており、関西国際空港及び大阪国際空港との一体的運営を図っています。令和元年5月の関西3空港懇談会の合意に基づき、発着枠の拡大及び23時までの運用時間の延長が実現しました。また、令和4年夏ダイヤからは、新潟への路線が結ばれ、就航都市は全国13都市へと拡大します。

引き続き、コロナ禍により落ち込んだ航空需要の回復に向け、関西エアポート神戸(株)や航空会社などと取り組むとともに、神戸空港のさらなる利活用が進むよう、就航先の自治体などとも連携し、航空需要の拡大に向けて取り組みます。



空から見たポートアイランドと神戸空港

## 安全・安心なみなとづくり

将来、発生が想定される南海トラフ巨大地震に伴う津波（レベル2）対策として、防潮堤をねばり強い構造へ補強するハード対策を進め、令和4年度末の完了を目指します。また、発災後、短時間で到達する津波に対し、防潮鉄扉等を迅速・確実に閉鎖するとともに、閉鎖従事者のさらなる安全確保を目的に、防潮鉄扉等の遠隔操作化に順次取り組んでおり、令和6年度末の完了を目標に、神戸港全域の遠隔操作化を進めます。

平成30年の大型台風による高潮被害を受け進めている、再度災害防止対策では、ポートアイランドにおいて、排水ポンプ整備や道路の嵩上げなどによる

緊急輸送道路の浸水対策に取り組むほか、六甲アイランドにおいても引き続き荷捌き地や背後道路の地盤嵩上げを進めます。



六甲アイランド嵩上げ工事の様子

# 3

## おわりに

神戸港が神戸市にもたらす経済効果は、所得創出効果で市内所得の約3割、雇用創出効果で市全体の約26%との推計結果（令和2年3月公表）があり、神戸経済を牽引するという点においても重要な役割を担っています。

その為、令和4年度予算で掲げた施策を着実に推進する

とともに、神戸港の主たる機能である「港湾・産業」と、みなとまち神戸の活力と文化を創造する「にぎわい・都市」の両面から取組みを進めることにより、神戸港のさらなる国際競争力強化と持続発展するまちづくりに貢献してまいります。

# 宮崎カーフェリー

## 神戸～宮崎間に 新船「フェリーたかちほ」就航

2022年4月15日宮崎港発～16日神戸港着



神戸～宮崎航路を運航する宮崎カーフェリー株式会社（郡司行敏社長、本社・宮崎市）の25年ぶりとなる新船「フェリーたかちほ」が就航します。第一便が4月15日午後7時10分に宮崎港を出港し、翌16日午前7時30分、神戸港に到着予定です。

新船は全長194m、全幅27.6m、総トン数約1万4200トン。現行船「みやざきエクスプレス」「こうべエクスプレス」より大型化され、トラックの積載台数がアップ、輸送力が強化されます。また個室が大幅に増え、バリアフリー、ペット対応個室も新設されるなど客室バリエーションも充実、多様な旅のニーズに対応しています。ゆったりと快適な船旅を楽しめそうです。

さらに2隻目の新船「フェリーろっこう」も建造中。3月30日に進水式を終えて内装工事などを行っており、10月に就航予定です。



2021年10月20日に開催された新船「フェリーたかちほ」の進水式



宮崎県出身でみやざき観光大使の漫画家・東村アキコさんが、支綱を切断。写真は支綱切断の際に用いた銀の斧の実物

# 新船「フェリーたかちほ」はこんな船

## 概要

全長・全幅	約194m×27.6m	トラック積載台数	163台
総トン数	約14,200トン	乗用車積載台数	81台
航海速力	23ノット	旅客定員	576名



## 積載トラック台数がアップ

船体の大型化によって、積載できるトラック数が現在の130台から163台へと増加。輸送力が強化されます。

## 環境にやさしく

従来の燃料をろ過する装置が取り付けられるなど、環境にやさしい設計に。船型そのものも波の抵抗が少なくなるデザインで、省エネ化されています。

## モダンなデザイン

船内は宮崎の豊かな自然やトロピカルフルーツをイメージし、緑やオレンジをふんだんに使った明るい色彩。伝統芸能の神楽で使用される「彫り物（えりもの）」の切り絵をモチーフにしたものなど、モダンなデザインです。



快適な船内で、  
楽しみ方いろいろ



## 充実の個室

よりプライベートな空間でくつろげるよう、個室を増設。旅客定員のうち約50%の乗客の個室を確保。またトラックドライバー向け船室は完全個室で、専用レストラン、バスルームを設置し、一般旅客とは別空間となっています。



シングル（全64室）



ドミトリー（定員252名）

## 航路



毎日 19:10発 → 翌 7:30着  
のぼり  
翌 8:40着 ← 月~土 19:10発  
くだり  
日 18:00発

## さまざまなスタイルの客室

シングルやツインルームをはじめ、最上級の「プレミアム」、2段ベッド×2の4人部屋「ファーストフォース」、ペットと共にお部屋で過ごせる「ウィズペットルーム」「バリアフリールーム」など、さまざまな旅のスタイルに対応しています。



プレミアムツイン (全6室)



ファーストフォース (全10室)



プレミアムバリアフリー (全2室)



ファーストツイン (全16室)



## 設備も充実

キッズコーナーやベビールーム、イベントステージ、展望サロンなど新設備も整えられています。ビジネスや一人旅でも、家族やグループ旅行でも、それぞれにワンナイトクルージングをより楽しめそうです。



キッズコーナー



レストラン



展望浴室



展望サロン



## イラスト

さわやかでぬくもりのある新船「フェリー たちほ」のオリジナルイラストは、イラストレーター、永井博さんの描き下ろし。永井さんは大瀧詠一「A LONG VACATION」(CBS・ソニー出版)をはじめ、多くのアーティストのレコードジャケットを手掛けるなど活躍されています。

## テーマソング

新船のオリジナルテーマソング「BLUE MAGIC (ブルーマジック)」を、20周年を迎える音楽レーベル「カクバリズム」所属ミュージシャンらによる豪華スペシャルバンドが制作。二階堂和美さんと浜野謙太さんがボーカルを務め、カリブソ調の明るいメロディで、ひなたの国、宮崎への船旅に誘います。



# 南国の魅力、宮崎



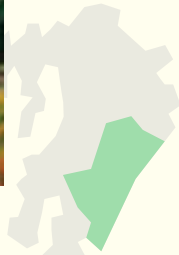
神話の舞台や南国ムード漂う海岸線…。温暖な気候、豊かな自然に恵まれた宮崎には、訪れてみたいスポットが多く点在しています。多彩なご当地グルメも楽しみの一つです。

## ジャカランダ

5月末から6月にかけて青紫色の花を咲かせるジャカランダ。世界三大花木の一つとされる南米原産の花木です。日南市南郷町の「道の駅なんごう」周辺では多くのジャカランダが咲き誇り、光り輝く日南の海との共演に魅了されます。



モアイ像（サンメッセ日南）



©一般社団 延岡観光協会



高千穂峡

## 「ジャカランダまつり」

2022年5月28日(土)～6月19日(日)予定  
宮崎県垂熱帯作物支場～道の駅なんごう周辺

## うどん

宮崎グルメと言えば「チキン南蛮」「地鶏炭火焼き」がよく知られていますが、「釜揚げうどん」も名物の一つです。柔らかめのうどんを揚げ玉たっぷりの出汁でいただくもので、地元の人たちに愛されています。日南市周辺では「魚うどん」も。小麦粉の代わりにアゴ(トビウオ)など魚のすり身を使った“うどん”です。

## メッセージ

25年ぶりの新船を皆さまにご提供できる喜びをかみしめています。フェリーの旅の魅力はカジュアルさではないでしょうか。新船では、その気軽さは残しつつ、少し豪華に、そしてより快適にくつろぎの旅を楽しんでいただけます。

出航時間になると、神戸の街に汽笛が鳴り響き、夜景がしだいに遠ざかっていく。船旅ならではのワクワク感を、この機会にぜひ味わっていただければ幸いです。



宮崎カーフェリー  
関西支店長  
細川 修一 さん

10月頃までは「新船お試しキャンペーン」として、現船と同一運賃でのご利用ができます。

詳しくは「宮崎 カーフェリー」で検索

宮崎 カーフェリー 検索

## お問い合わせ・ご予約

関西予約センター TEL 078 (321) 3030

公式サイト <https://www.miyazakicarferry.com/>

新船情報 <https://www.miyazakicarferry.com/shinsen/>



# GO FOR IT! PORT

## SNSフォトコンテスト 受賞作品発表

本誌Vol.47でもご案内したSNSフォト  
コンテストの受賞作品が決定しました!

PORT OF KOBE 賞

👑 7作品



# OF KOBE

## にっぽん丸賞 5作品



gaskg9 様



hsaka2019 様



kobeport\_new141 様



masakazu.kadowaki 様



lica 様

## ぱしふいっくびいなす賞 2作品



おじゃマンボー様



hsaka2019 様

## 飛鳥Ⅱ賞 2作品



akira\_masanaka 様

### Instagram、Twitter「#頑張れクルーズ船フォトコンテスト」

“GO FOR IT! PORT OF KOBE”  
プロジェクトとは？

クルーズ船「神戸」へ。寄港再開。国際貿易港として多くの人が集まる神戸港。クルーズ船の寄港再開を機に「神戸」は新しい安全と楽しさを手に入れ、夢の客船を再び迎えます。世界に誇る「安心・安全な港町」として大きく漕ぎ出す「神戸港」を是非応援してください。「頑張れ！神戸港」「頑張れ！クルーズ船」というプロジェクトです。



hsaka2019 様

# 神戸海洋博物館 & カワサキワールド だより

## 神戸海洋博物館

### 企画展「ふねのおなまえ あなたとめぐる日本列島」を開催しました。

神戸海洋博物館では、2022年1月25日(火)から3月6日(日)まで(会期延長により4月3日(日)まで)「ふねのおなまえ あなたとめぐる日本列島」を開催しました。日本の海をまわる様々な船の船名の命名ルールをご紹介し、クイズラリーを開催して館内を巡っていただくことで船名から日本列島の地名を身近に感じていただくという展示です。クイズラリーご参加の皆さまには神戸海洋博物館オリジナルポストカードのプレゼントも行い、多くのご来館者の方々にお楽しみいただける企画となりました。



#### 次期企画展につきまして

次期企画展として、4月中旬より「みなと神戸のハイカラさん 産業編」(仮称)の開催を予定しております。神戸港を通じて異国からもたらされてきた産業、文化を紹介し、身近に感じていただける企画内容となっております。

#### 神戸海洋博物館35周年につきまして

2022年4月30日に神戸海洋博物館は開館35周年を迎えます。神戸市中央区のマスコットキャラクター・かもめんとともに、今後の新型コロナウイルス感染症状況に留意しながら開館35周年のお祝いをする予定です。皆さまご来館ください。



## 「ミニ鉄道フェスタ」を2年ぶりに開催！

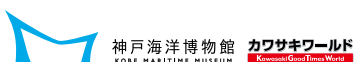
2021年12月18～19日、カワサキワールドがあるメリケンパーク（神戸市中央区）にて、「ミニ鉄道フェスタ in 神戸メリケンパーク2021」を開催しました。

全国から集まった鉄道愛好家が自慢のミニチュア（約1/10サイズ）の蒸気機関車や電気機関車など、計67編成を持ち寄り、カワサキワールド来館の希望者に乗車いただきました。

新型コロナウイルス感染症の影響で2年ぶりの開催となり、家族連れや鉄道ファンが2日間でのべ約2,400人集まり、メリケンパークに敷設された1周約400mの線路のミニ鉄道の旅を楽しみました。



※新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で実施しました。



- 開館時間 10：00～18：00（最終入館17：30まで）
- 休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合翌平日）、年末・年始
- 交通 【電車】  
市営地下鉄海岸線「みなと元町駅」から徒歩約10分／JR・阪神「元町駅」から徒歩約15分／神戸高速（阪急・山陽）「花隈駅」から徒歩約15分  
【車】  
山陽新幹線「新神戸駅」から約15分／阪神高速道路京橋ランプから約5分／ハーバーハイウェイ新港ランプから約5分（周辺に有料駐車場あり）

### ●入館料金

個人料金	一般団体		学校団体
	15名以上		
大人	900円	720円	高校生 300円
小人 (小・中・高)	400円	320円	小・中学生 150円

リニューアル工事中 神戸ポートタワーをアートで彩る

# 神戸ウォーターフロント アートプロジェクト 開催中

KOBE WATERFRONT ART PROJECT

## KOBE WATERFRONT ART PROJECT



リニューアル工事のため、足場を覆うシートに囲まれている神戸ポートタワー。このシートに映像アートを映し出すプロジェクションマッピングが行われています。

これはリニューアル工事をきっかけに始まった、街とアートをテーマにしたプロジェクトのひとつ。神戸市と(株)神戸ウォーターフロント開発機構が工事中もポートタワーに親しみを持ち続けてもらい、神戸ウォーターフロントの魅力をさらに知ってもらいたいと企画しました。

今後も海外アーティストを起用した大規模アートイベントや市民の皆様にも参加いただけるアートイベントなどを企画中。期間限定のアートで彩られるみなと神戸をぜひお楽しみください。

## 神戸ポートタワープロジェクションマッピング 夜の神戸港に高さ80mの大迫力映像が出現！



第1弾コンテンツ「One and only」では、神戸市民の花、アジサイ、フィッシュ・ダンスの鯉や港の街並みが音楽にあわせて次々に映し出されています。（「One and only」は2022年春まで）第2弾コンテンツは4月下旬に開始予定です。

映像制作は、企画・プロデュース集団シムディレクト・タケナカが担当し、国内外で活躍する作家BAKIBAKI、照明デザイナー長町志穂氏が参加。映像を盛り上げる音楽は、東京五輪のアーティストックスミングの音楽制作も担当した佐藤亘氏の作曲。

## 幕間に流れる映像がリニューアル

プロジェクションマッピングの幕間に流れる映像は、3月18日より「桜・新緑」をテーマにした映像へとリニューアルしました。こちらもお楽しみに。



### プロジェクションマッピング実施概要

期 間：2022年1月14日(金)～2023年春

投影時間：19:00～22:00、


毎時0分・30分の計7回、  
1回あたり約7分間

日照時間により投影時間を変更する  
可能性があります。

観覧場所：神戸メリケンパーク

「神戸ウォーターフロントアートプロジェクト」特設サイト

<https://artproject.kobe-waterfront-development.ink/>

 インスタグラム「kobe\_artproject」

 ツイッター「@kobe\_artproject」



## ポートタワー周辺 ここにもアートが！

タワーの足下南側の仮囲いには、神戸在住のイラストレーター「もふもふ堂」が描いた神戸の街のイラストが展示中です。明るい神戸の街の風景画に、散策の足をとめる人も。



タワー北側すぐの中突堤中央ビルの1階には、壁いっぱいにカラフルな壁画が描かれています。これは神戸芸術工科大学の廣中薫氏らが手がけたもの。同ビルは現在、タワー工事の中う回路およびトイレ休憩ができる待合所「Pier.N」になっています。こだわりの焙煎コーヒーと、神戸発のローカルビールも味わえるショップ「Soul drip coffee」もあり、壁画の前は、連節バス「ポートループ」の「ポートタワー前」バス停です。

## リニューアルオープンは 2023年夏頃を予定

耐震補強や設備の老朽化対策、エレベーターの更新などのほか、低層4階テラスや屋上には展望回廊も新設する予定です。

地上100mから神戸の街並みを360° 展望



# 神戸ウォーターフロントエリアの注目！ ニュースポット

神戸ウォーターフロントエリアでは、これまでメリケンパークや神戸海洋博物館のリニューアルが行われるとともに、メリケンパーク東に位置する新港突堤西地区では、昨年10月、賑わいの核となる神戸ポートニュージアムが開業したことで、新たな人の流れが生まれています。今回は注目エリアの新しいスポットを紹介します。

## フェリシモ チョコレート ミュージアム

### 神戸から新しい チョコレート文化の船出

2021年10月にオープンした、世界中のチョコレートのパッケージを収蔵・展示するミュージアム。チョコレートやカカオに関する歴史・文化・レジェンド、そして革新にまつわる様々な情報やファッションやアートとの繋がりなどを収集・編集・発信しています。

ミュージアムに一步足を踏み入るとカカオの甘い香りに包まれます。

また来館者とミュージアムの交流の場「imagination picnic」では、触れられる巨大なチョコレートオブジェの前で写真を撮ることができます。

オープニングにあたり、国内外のメーカーや個人などから収集した、約1万2000個以上のパッケージがミュージアム内の壁一面にずらり。訪れる人を幸せな気持ちにさせてくれます。企画展も開催されており、現代美術家、ヴァレリオ・ベッルーティ氏の、チョコレートをテーマにした企画展「AMAI」(2022年9月下旬まで)などを展開して来場者を魅了しています。



壁一面のパッケージ



触れられる巨大なチョコレートオブジェ



企画展「AMAI」



施設間のアクセスがよりスムーズに



お洒落な空間の拡充に期待



時代を感じさせるBMWカブリオレ(1935年)と休憩スペース



直線基調のモチーフにシンプルかつクリーンな美しさを持つBMW700(1960年)

### BMW ミュージアム

## レトロファン必見のラグジュアリー空間

2021年6月にオープンした『Kobe BMW ハーバー神戸支店』の2階に併設するミュージアム。これらのクラシックカーはGLION MUSEUM(大阪市港区)から運ばれてきています。

現在は、時代を感じさせるBMWカブリオレ(1935年)や直線基調のモチーフにシンプルかつクリーンな美しさを持つBMW700(1960年)、赤色の独特のフォルムが魅力のBMWイセッタ300(1958年)など車両3点を展示中。ショールームが併設されており、休憩スペースではソファに座って、BMWの貴重なクラシックカーをゆっくり眺めることができ、展示している車と一緒に記念撮影も可能となっています。

貿易センター駅



旧館外観 (撮影:伊東俊介)

### デザイン・クリエイティブセンター神戸

## 神戸を元気にする「創造の中心地」

デザイン・クリエイティブセンター神戸(愛称:KIITO/キイト)は、旧生糸検査所を改修した、「デザイン都市・神戸」の拠点施設です。デザインやアートにまつわるゼミ、講演、展示、イベントなどを開催するほか、カフェ・貸しホール・ギャラリー・会議室・オフィススペースなどがあります。

2021年には、1階にクリエイティブラウンジとインフォメーション&ショップ、3階に子どもの創造的学び・社会貢献活動の交流拠点「KIITO:300(キイトサンマルマル)」が開設されました。2022年の夏には神戸市立三宮図書館が三宮市街地の再整備に伴いKIITOの2階に仮移転して来ます。期間は新しい図書館が完成する2026年度夏頃まで、蔵書数は約7万冊を予定しています。

### 公共空間の整備状況(緑地、デッキ)

## 美しい景観と回遊性の向上

2022年1月に周辺施設を結ぶデッキが完成し、周辺施設への往来が以前よりスムーズになりました。デッキが完成したことで、新港突堤西エリアの施設間のアクセスはもちろん、歩車分離による安心・安全な回遊に繋がることが期待されます。

Stage Felissimo(フェリシモ本社)と神戸ポートミュージアム南側の水際空間には、神戸港を臨みながら人が自然と集まり交流できるよう、緑地が創出され、休憩のためのベンチも適宜設えられた空間となっています。

神戸の美しい景観とこれからのウォーターフロントエリアがマッチして、お洒落な空間が拡充していくのが楽しみです。



## 3月27日(日)より神戸-新潟線が就航!

3月27日(日)からフジドリームエアラインズによる神戸-新潟線が1日1往復で就航します!!

新潟県は、世界遺産の日本国内推薦候補になっている「佐渡金山」や酒蔵の数が日本一である酒どころであるなど、歴史・文化が感じられる観光資源を多く有する魅力ある都市であり、四季に応じて楽しいイベントがたくさんあります!

神戸空港からのフライト時間は、約75分。神戸から近くなった新潟へぜひ訪れてはいかがでしょうか。

**【新潟線運航ダイヤ】 2022年3月27日~2022年10月29日**

便名	神戸→新潟	便名	新潟→神戸
857	18:40 → 19:55	856	16:50 → 18:10



佐渡金山

## 神戸空港から13都市に就航しています!



神戸空港は、全国13都市(札幌・青森・花巻・仙台・新潟・茨城・松本・東京・高知・長崎・鹿児島・沖縄・宮古(下地島))に就航しており、航空会社(スカイマーク・全日本空輸・ソラシドエア・AIRDO・フジドリームエアラインズ)のご尽力により運航しております。

また、神戸空港では、お菓子や雑貨などを販売する期間限定のポップアップショップ「SORAマーケット」の開催や日替わりでキッチンカーが出店する「キッチンカーマルシェ」を開催しております。神戸空港にお越しの際はぜひご利用ください。

今後も、神戸空港がより一層便利で魅力のある空港となるよう、引き続き全力をあげて取り組んでまいりますので、ご理解・ご支援を賜りますようお願いいたします。

## 神戸空港における新型コロナウイルス感染症対策の取り組み

神戸空港では、皆様に安心して飛行機をご利用いただけるよう、関西エアポート神戸(株)及び各航空会社において空港内・機内の消毒、サーモグラフィーによる体温測定など感染拡大防止対策に取り組んでいます。空港のご利用にあたっては、発熱時のご利用はお控えいただくとともに、空港内や飛行機内でのマスクの着用、手指の消毒、ソーシャルディスタンス等をお願いしております。感染拡大防止に向けたみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



# 神戸港 TOPICS

## メリケンパークの夜に 瞬間めく「メヤメヤ」を開催

12月17日（金）～26日（日）にメリケンパークでイルミネーション『メリケンパークの夜に瞬間めく「メヤメヤ」』が開催されました。スモークとレーザーを使用することで頭上に海面の揺らぎを表現し、メリケンパークを海底に見立てる演出でした。

また、30分毎に光と音楽が連動する約5分間の特別演出も実施し、メリケンパークと神戸海洋博物館に一体感が生まれ、多くの人が立ち止まって見惚れてしまうほど美しい時間でした。

さらに、周辺ホテルや遊覧船との連携も実施され、エリア全体での夜の賑わいが生まれました。



イルミネーションの様子

## 編集後記

「神戸港からのたより」第48号をご覧いただき、ありがとうございます。

今回の特集では、国際港湾として、また、神戸のにぎわいの拠点として再開発が進む神戸港の取り組みを紹介させていただきました。さらに、神戸港にその姿をあらわす宮崎カーフェリーの新船「たかちほ」の魅力をお伝えできたのではと思います。

新年度のはじまりに相応しい内容を盛り込んだ冊子となりましたが、編集・発行を担う私ども神戸観光局港湾振興部においても、神戸港の発展とにぎわいづくりに貢献していくため、取り組みを開始しています。

ポートセールスの分野においては、神戸港の概要や主要な取り組みを紹介する「神戸港オリエンテーション」、「神戸市港湾局事業概要説明会」及び「神戸港案内業務」の開催をはじめ、市内の小学校を対象とした神戸港見学会「みなとの学習会」を拡大し、年間120校の参加を目標に、未来の神戸港を担う海事人材の育成にも取り組みます。

にぎわいづくりの分野においては、私どもが事務局を務める「みなとこうべ海上花火大会」は、「みなとHANABI」と名称を変更するとともに、実施形態を短時間・複数日開催に見直して実施を目指すなど、港湾関連事業者や観光事業者と連携し、ウォーターフロントの魅力を発信していきます。

また、新型コロナウイルス感染症防止対策に万全を期したうえで、クルーズ客船の安全・安心な受け入れに努め、入港歓迎行事やおもてなし事業の充実により神戸港のイメージ向上を図るとともに、乗船客へ神戸観光の魅力を発信していきます。

「神戸港からのたより」とともに、私どもの事業活動に引き続きご支援・ご協力賜りますようお願い申し上げます。

